

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人プロジェクト保津川

1. メニュー名	申請するメニューにチェック☑をしてください。 <input type="checkbox"/> スタート事業 <input type="checkbox"/> ステップアップ事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民連携事業
2. 事業名	かめおかプラスチックごみゼロ宣言～みんなで考える亀岡の未来
3. 対象	対象となる地域や地域住民を記入してください。 亀岡市民（特に小中学生とその保護者）
4. 期間	令和3年4月1日（木）～ 令和4年3月31日（木）
5. 地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。 課題 亀岡市内を流れる保津川（桂川）は、ごみの大量漂着や水質悪化など河川環境の悪化が深刻化し、国の天然記念物アユモドキが生息するなど希少な生態系への影響が懸念されるとともに、保津川下りなど観光産業にも大きな影響を与えており、その環境保全が大きな課題となっている。こうした中、2018年12月に発表された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をふまえて、今年1月からは全国初のレジ袋使用禁止条例が施行されるなど、亀岡市における使い捨てプラスチックごみ削減の取り組みは国内外から大きな注目を集め、飲食店などの事業者の自発的なプラごみ削減の取り組みも大きな進展を見せている。しかし、 <u>レジ袋以外のペットボトルなどの発生抑制の取り組みが依然として課題である</u> 。保津川および支流域においても、プラスチックごみの大量漂着は続いており、当団体が毎月実施している「保津川クリーン作戦」においても、 <u>2020年度は6.96トン（かさ容量）</u> のごみが回収されている。保津川の景観を守り、海洋プラスチック汚染を防ぐためには、 <u>プラスチックごみの発生抑制は急務</u> であり、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を広め、市民意識の向上をはかり、生活に深く入り込んだ使い捨てプラスチック製品の大量消費という生活習慣を改める必要がある。
	事業の目的 本事業では「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を踏まえて、地域住民や事業者、行政機関との連携により内陸部からの海ごみ発生抑制をめざすとともに、これらの取り組みを通じて、人々の関心を高め、幅広い市民や企業がかかわる土壌づくりをめざす。 今年度は、アメリカ・ニューヨーク市で小学生の子供たちが発泡スチロールトレイ禁止を実現させた様子を記録したドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらの作る2050年～」 （2019年アメリカ、原題「microplastic madness」。制作：Cafeteria Culture）の日本語吹替版の制作を通じて、次世代の担う子供たちとその保護者を中心に、海外ではどんな取り組みが進められていて、それはどのようにして実現したかを学び、亀岡市での今後の取り組みを市民自らが考えるきっかけとなることをめざす。

6. 実施内容

実施した内容を具体的に記入してください。

(実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)

【映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」の日本語吹替版の制作】

- ・ 映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらの作る2050年～」の日本語吹替版の制作に向けての子役声優の募集、オーディションおよび収録を実施した。オンラインで実施した1次オーディションには、亀岡市内からは61名の応募があった（全国では合計578人）。このうち、亀岡市内からは20名が合格し、2021年6月26日～27日にかけて実施した2次オーディションの結果、最終的には6名が声優を務め、主役の1人も亀岡市内在住の生徒が務めた。7月14日～18日には亀岡市内で収録を行い、声優の他にも、「ギャ」と呼ばれる大勢の声のシーンは詳徳小学校6年生児童が務めるなど多くの児童、生徒が参加した。た。ほかにも、NY市長役は桂川孝裕市長が、NY市議役は福井英昭議長が、PS15校長役は國府美幸つつじ小校長にそれぞれ務めていただいた。
- ・ オーディションおよび収録は京都先端科学大学の全面的な協力のもと実施し、当日は学生による展示や体験型のワークショップなども行われ、新聞でも報じられた。
- ・ 「マイクロプラスチック・ストーリー アンバサダーズチーム」（この映画を応援しながら、プラスチック削減に取り組むオンラインのコミュニティ）として、子役声優のプラごみ問題の啓発イベント等へ参加児童を招待し、国内外の仲間との交流を通じて、プラスチックごみ問題への理解を深めた。

【上映イベント、ミニコンサートおよびトークイベント】

- ・ 吹替版の完成を記念して、2022年2月5日に上映イベントとミニピアノコンサート、トークイベントをギャラリーかめおかで開催した。コロナ禍で入場者数を大きく制限しての開催となったが、定員上限一杯の100名の参加があった。なお、本イベントは、かめおか遊友ネットワークとの共催で実施した。
 - ・ 映画の舞台となった米ニューヨーク市をテーマにした市内在住のピアニスト東坂萌里さんによるミニコンサートも開催し、アートを通じて環境問題や市民活動を身近に考えられる機会として開催した。
 - ・ 映画上映後は、佐竹敦子監督とオンラインでのトークイベントを開催し、声優を務めた桂川孝裕市長、福井英昭議長にも登壇いただき、映画の制作背景の紹介の他、これからのプラスチックごみ削減の取り組みについて議論した。
 - ・ 京都先端科学大学や（株）堀場テクノサービスによるマイクロプラスチック調査に関する展示を開催し、プラスチックごみ問題の啓発を行った。
- ✓ 上映イベントの参加者の感想については、添付の参加者アンケートの集計結果を参照。

7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>①アウトプット</p> <p>吹替版制作：亀岡市内からは子役声優に 61 名の応募があった（全国では合計 578 人）。 このうち、1 次オーディションは 20 名が合格。 最終的には 6 名が声優を務め、主役の 1 人も亀岡市内在住の生徒を務めた。その他、「ギャ」と呼ばれる大勢の声のシーンは詳徳小学校 6 年生児童が、つつじ小児童がカメラ撮影や音声収録の補助を務めるなど、多数の児童、生徒が参加した。さらに、NY 市長役は桂川孝裕市長が、NY 市議役は福井英昭議長が、PS15 校長役は國府美幸つつじ小校長にそれぞれ務めていただいた。</p> <p>上映イベント：来場者 100 名（感想等は別紙参照）</p> <p>②アウトカム</p> <p>オーディションや収録には中京地方および近畿地方一円から多数の児童、生徒が参加したが、会場となった京都先端科学大学では、放送部の学生らがプラスチックごみ問題をテーマとした展示や体験型のワークショップなども開催し、参加者の問題への関心や亀岡市の取り組みへの理解を深めることができた。</p> <p>また、オーディションを通じて選出された声優のほかにも、詳徳小学校 6 年生の児童全員が集団の発声シーン（ギャ）を担当するなど、普段の学校での学びが映画制作への参加につながり、学習の効果をより深めることができた。こうした市内在住の児童・生徒の取り組みは、オーディションに参加しなかった子供たちの関心も呼びさますこととなり、当団体が市内の学校で実施した環境学習では、これまでに以上に児童・生徒の関心が高まっている。</p> <p>この吹替版は、東京と京都の映画館でのプレミア上映会（2021 年 12 月末）を皮切りに、その後、全国各地で上映会が行われており、「環境先進都市」としての亀岡市の知名度の向上にも大きく貢献している。</p>	
8. 協働の効果	<p>今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。</p> <p>※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。</p>
<p>【連携】</p> <p>亀岡市環境政策課：企画および情報発信、上映・ミニコンサート・トークイベントの共同開催</p> <p>➤ 市および当団体それぞれがもつ広報ツールを活用し、イベントを広く広報するだけでなく、プラスチックごみ削減の必要性について、さらなる市民の理解を深めるための取り組み（保津川の日など）を推進した。</p> <p>かめおか遊友ネットワーク</p> <p>➤ 共催団体として、会場手配、後援申請、広報、資金獲得など、幅広く協働した。</p> <p>【協力】</p> <p>亀岡市教育委員会（学校でのチラシ配布）、霧の芸術祭実行委員会（広報）、亀岡市議会（吹替版制作）、京都先端科学大学（オーディションおよび収録会場の提供、広報）、タラ・オセアン・ジャパン（広報、啓発資料の提供）</p>	

9. 今後の展開		事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）
2年目	<p>映画の全国での公開</p> <p>完成した映画を全国の映画館、およびオンラインで公開し、亀岡市民も含めた多くの人々に鑑賞してもらうことで脱プラスチックの機運をさらに高める。</p> <p>また、亀岡市内の各学校でも授業の教材として映画を活用してもらい、子供たち自身が社会問題の解決に取り組む機運を醸成する。</p>	有償公開、寄附金
3年目	<p>清掃車ペイントイベント</p> <p>アートを通じた環境保護意識の高まりをめざして、映画の上映会とあわせて、コロナ禍のため延期している、アフリカンペイントアーティスト SHOGEN 氏との清掃車のペイントイベントを開催し廃棄物行政への理解を深める。また、亀岡市内の各学校でも授業の教材として映画を活用してもらい、子供たち自身が社会問題の解決に取り組む機運を醸成する。</p>	助成金、寄附金

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

世界中の映画祭で入選 数々の賞を受賞中



プラスチック汚染解決にニューヨークの小学生が立ち上がる！

マイクロプラスチック ストーリー

ぼくらが作る2050年

日本語吹替版制作決定！

子役声優

亀岡オーディション開催

大募集！！

ニューヨーク・ブルックリンの小学校5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間を追った長編ドキュメンタリー。

マイクロプラスチックストーリー公式サイト

<https://microplasticstory.org>



監督：佐竹敦子&デビーリー・コーヘン 撮影・編集：佐竹敦子 アニメーション：ダニエル・ラモス/デビーリー・コーヘン

出演：ニューヨーク市ブルックリンPS15小学校の皆さん/チェルシー・ロックマン/ジュディス・エンク/マーカス・エリクセン

制作：カフェテリア・カルチャー（アメリカ） 亀岡事務局：特定非営利活動法人プロジェクト保津川（日本）

日本語吹替版制作は、映画に感銘を受けて下さった、タラ オセアン ジャパンと
アニエスベーにご支援をいただいております、今後もコラボレーションさせて頂く予定です。

Fondation **taraocéan** et Agnès b.



声優に応募して マイクロプラスチック ストーリー アンバサダーズチームに参加しよう！

ニューヨークの小学5年生の子供たちが主役のドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー」は世界37ヶ国で上映され、数々の賞に輝いています。この度、この映画の日本語吹替版の制作が決定。プラスチック汚染問題に興味のある一般の子供たちの中から声優を募集します。

同時に、日本語吹替版の制作決定を記念して、「マイクロプラスチック・ストーリーアンバサダーズチーム」を設立しました。声優に応募するとアンバサダーズチームに入会でき、オンラインイベントに招待されます。また審査に通過して声優として参加すると、特任アンバサダーに任命されます。

応募
問い合わせ



募集期間
4/25-5/25

プラスチック汚染に関心のある小学1年生から中学3年生が対象です

1. 公式サイトの声優応募問い合わせフォームよりお名前とメールアドレスをお知らせください。
2. 事務局から、応募の詳細と声優応募フォームのリンクをお送りします。
3. 声優応募フォームで必要事項（顔写真登録有り）を記入して応募を完了してください。
4. 応募が完了すると、事務局より脚本とオーディション方法・日程確認などのメールが届きます。

応募には、保護者の同意が必要です。

- 審査や録音の様子を撮影したり、メディアの取材を受ける事をご承諾ください。
- その際、お住いの都道府県・下のお名前・学年を掲出させていただく場合があります。
- 小学生の場合、2次審査会場やスタジオへは、保護者又は代替りの大人の同伴が必要です。

締切
5/25
火曜日

特任アンバサダー
1次審査



審査期間
6/4-6/13

ZOOMで審査

1次審査では、脚本を読んでいただきます。また、プラスチックを減らす工夫、環境のためにやっていることなどを質問します。プラスチック問題に対して考えている事をお聞かせください。

特任アンバサダー
2次審査



審査期間
6/19-7/4

ライブ&ZOOM オーディション

亀岡市で開催。その他、東京都内アエスパー店舗、横浜市、香川県三豊市粟島でも開催予定。会場にお越しただけの方はZOOMで2次審査をします。(感染症対策として審査方法や開催地が変更になる場合があります。)

7月10日 特任アンバサダー決定！



レコーディング 7月中旬～8月下旬

特任アンバサダーはレコーディングに向けて読み合わせ練習をZOOMで行います。レコーディングは、亀岡のスタジオで行う場合と、ご家庭で録音をお願いする場合があります。また、配役によっては、録音が数日にわたる場合もあります。

※吹替版制作への参加は無給ボランティアとなりますが、交通費の一部負担補助があります。

発行 特定非営利活動法人
プロジェクト保津川

後援 亀岡市・亀岡市教育委員会
かめおか霧の芸術祭実行委員会

助成 (申請中) 京都府地域交響プロジェクト交付金
亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

オーディションで
会いましょう！

監督：佐竹敦子



かめおかプラスチックごみゼロ宣言

みんなで考える亀岡の未来

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

今年度は、米NY市で小学生の子供たちが発泡スチロールトレイ禁止を実現させるまでを描いたドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらの作る2050年～」(2019年アメリカ、原題「microplastic madness」、制作:Cafeteria Culture)の日本語吹替版制作を通じて、次代を担う子供たちとその保護者を中心に、海外ではどんな取り組みが進められていて、それはどのようにして実現したかを学び、亀岡市での今後の取り組みについて市民自らが考えるきっかけとなることをめざした事業を実施しました。

オーディションの開催

オンラインで実施した1次オーディションには、全国から578人の応募がありました。亀岡市内からも61名の応募があり、たくさんの子供たちが声優に挑戦しました。

1次オーディションには、亀岡市内からも20名が合格し2次オーディションに進みました。

京都先端科学大学亀岡キャンパスで、6月26日～27日にかけて実施した2次オーディションの結果、最終的には亀岡市内からは6名の声優が誕生しました。、主役の1人も亀岡市内在住の生徒が務めることになりました。

吹替版の収録

7月14日～18日には亀岡市内で収録を行いました。声優の他にも、「ギャ」と呼ばれる大勢の声のシーンには詳徳小学校6年生児童が務めるなど多くの児童、生徒、学生が参加しました。また、NY市長役は桂川孝裕市長が、NY市議役は福井英昭議長が、PS15校長役は國府美幸つつじ小校長にそれぞれ務めていただきました。



プレミア上映会と舞台挨拶

日本語吹替版の完成を記念して、12月24日～30日にアップリンク吉祥寺(東京)とアップリンク京都(京都)でプレミア上映会を開催しました。プレミア上映会では、声優を担当した児童、生徒や市長、議長の舞台挨拶も行いました。



ギャラリーかめおかでの上映会とミニコンサート

2月5日には、ギャラリーかめおかで上映イベントとミニピアノコンサート、トークイベントを開催しました(かめおか遊友ネットワークとの共催)。また、映画の舞台となった米NY市をテーマにした市内在住のピアニスト東坂萌里さんによるミニコンサートも開催し、アートを通じて環境問題や市民活動を身近に考えられる機会として開催しました。

映画上映後は、米NY市在住の佐竹敦子監督とオンラインでのトークイベントを開催し、声優を務めた桂川孝裕市長、福井英昭議長にも登壇いただき、映画の制作背景の紹介の他、これからのプラスチックごみ削減の取り組みについて話し合いました。さらに、プラスチックごみ問題をより深く知ってもらおうと、京都先端科学大学や(株)堀場テクノサービスによるマイクロプラスチック調査に関する展示も行いました。



2022年度も多くのみなさんにこの映画をご覧いただけるイベントを実施する予定です。また、上映イベントの開催をお考えの方は、ぜひプロジェクト保津川までお知らせください。
<https://hozugawa.org> info@hozugawa.org

映画の詳細や予告編は左のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



『マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る2050年～』

参加者アンケート分析結果報告

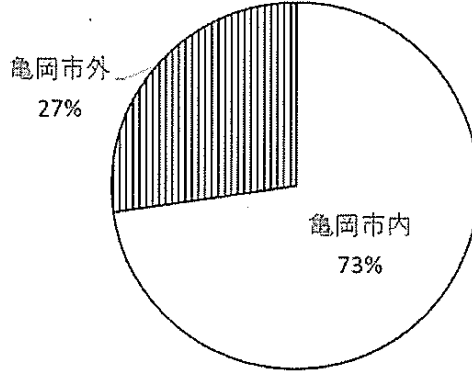
参加者 100人 アンケート回収数 44人(回収率 44%)

1. 参加者の居住地

亀岡市外の方

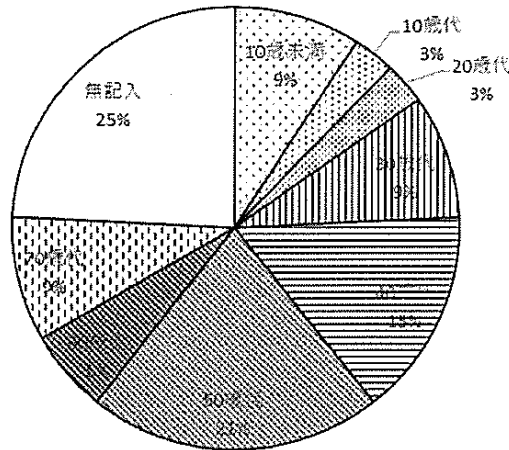
- ◎京都市 6人
- ◎南丹市 3人
- ◎茨木市 1人
- ◎大阪市 1人
- ◎滋賀県栗東市 1人

参加者の居住地



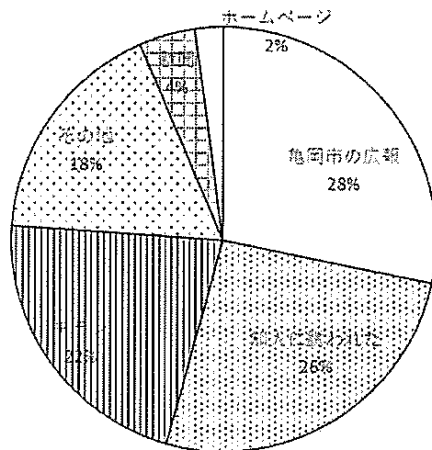
2. 参加者の年代

アンケート記入者の年齢



3. どのような広報で知りましたか？

どのような広報で知りましたか



その他

- ◎出演者からの誘い
- ◎団体の方からの誘い
- ◎高澤先生からお聞きして
- ◎Facebookを見て
- ◎メールで知った
- ◎スタッフとしてかかわって

4. 自由記述

○気づかされた 自分でできることはやります

○何気なくしている分別も、もっと正確にきちんとしなくてはと思うところです。知人にも、本日の上映内容を働き掛けていきたいと思います。

○子供たちの取り組み内容の映画に感動しました。よりたくさんの方にお声がけして、ひろめていきたいと思います。佐竹監督のお人柄に惹かれました。

○映画を見るのは二回目でしたが、やっぱり感動しました。ありがとうございました。

○京都に続いて 映画を見るのは二回目でした。子供たちのエネルギーに自然と涙が出そうになりました。

○今後も環境問題に積極的に取り組んでいくことを進めていき、環境先進都市亀岡をさらに目指していければと思う。

○今後、次の世代を守る大切さの認識を、更に深めなくなるなければならない。

○亀岡市の皆様の協力で開催されているイベントで素晴らしいでした。とても勉強になりました。早く同じような取り組みを社内でも紹介したいです。

○プラスチック廃止の取り組みに感動した。自分もできることから 今日からしようと思った。

○必要なことはよくわかります。今ペットボトル不要から取り組んでいます。

○今まで以上に考えなくてはいけない問題だと思いました。

○わかりやすく できることから始めようと思いました。

○プラスチックをなくそうとすることになると、これがいいことをわかった。

○プラスチックをあまり使ったりしないで 環境にいいものを使いたいと思った。

○ガレリアには良いピアノがあるのに どうして電子ピアノなのでしょうか良い曲もなかったんです。

○プラスチックがこんなに大木な環境問題になっていることを 知れたので気をつけたいと思いました。

○英語版を見ていたため、内容自体は知っていましたが、日本語で改めて見ると、以前見たよりも心に刺さるように感じました。子供だからこそ、大人にも深く伝わる、とてもいい映画でした。

○映画を見てプラスチックごみに対する考えが変わりました。今まで買い物に行く際にはマイバッグを持参することや、ゴミを分別して処理することを心がけて生活してきました。しかし、それだけでは足りないことを知りました。これからは、プラスチックそのものを使わないように意識して生活して行きます。貴重な機会を作ってくださいありがとうございました。

○とても 勉強になりました。亀岡市でレジ袋の削減のための条例ができ、いろいろな意見があります。しかし、今日参加させていただき、心からいい取り組みだと思いました。

○すごく良い企画なのに画面の小さいのがやや何点でしたね。改めて我が国の学校給食の素晴らしさを知りました(アメリカの給食よりずっとエコ)。亀岡頑張ろう! 頑張ってるな! と感じました。

○海のマイクロプラスチックをあみの細かいザルで掬っていききたい気分になりました。子供たちの出演、声優がとても良かった。もっと広げて欲しいですね。企画も素晴らしかった。ピアノも良かったです…。

○映画にて市長の目線で、良くなるように願います。

○日本語吹き替え版楽しく見させて頂きました。字幕よりも親しみがあります。親子で、学校で、上映する機会を作っていただけたいと思います。

○ニューヨークの子供たちの真剣さ 声優として参加した子供たちの真剣さに感動しました。プラスチックのない生活は無理だろうと考えていたことが できるのではないかという気持ちが湧き上がってきました。自分にできることを頑張ります。

○ゴミ拾いを頑張ろうと思いました。

○マイクロプラスチックの問題がこんなに深刻だということを改めて感じました。

○プラスチックは海洋だけではなく地球温暖化につながっていることが分かりました。プラスチックを使うのは悪いというより、使い過ぎが良くなく ほどほどにするべき、または、別のものを代用するか、そもそもゴミが出ないようにしなければいけないとよくわかりました。

○マイクロプラスチックごみのことがよくわかりました。

○マイクロプラスチックごみの事が分かりました。プラスチックをあまり使わないように気を付けたいです。